



テクニカル・メッセージ

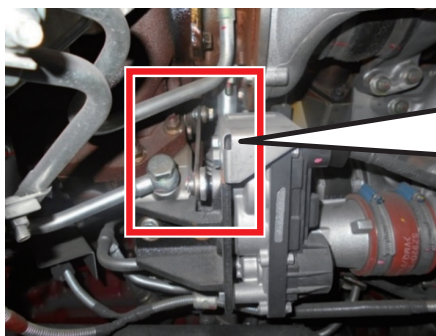
エンジンの排気バイパスバルブ及びターボチャージャリンク部 発錆防止のためにグリース塗布を推奨します

走行中に巻き上げられた水や融雪剤等が、エンジンの排気バイパスバルブやターボチャージャのリンク部に付着し、錆が発生すると、リンク部（摺動部）の動きが悪くなり、エンジンの出力不足を引き起こす場合があります。発錆の予防として1年に1回、当該部へのグリース（ロックタイトアンチシーズ771相当品）塗布が有効ですので、塗布要領と併せてお読みください。

■ 対象車両

大型トラック：A09CVAエンジン搭載車、E13Cエンジン搭載車

A09C 排気バイパスバルブの例



発錆により摺動部の動きが悪くなり、吸入する空気量が低下



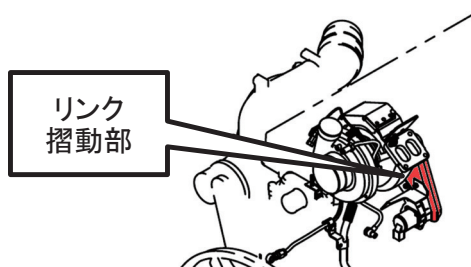
- ・エンジンの出力不足
- ・チェックエンジンランプの点灯

■ グリース塗布のメンテナンスについて

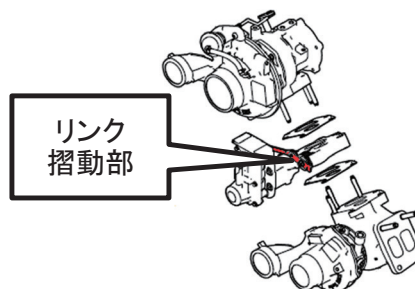
1年に1回、リンク摺動部にグリース ※（アンチシーズ771相当品）塗布を推奨致します

※ご使用いただくグリースにつきましては、次ページもご参照ください

<E13Cエンジン>



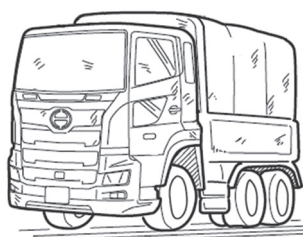
<A09CVAエンジン>



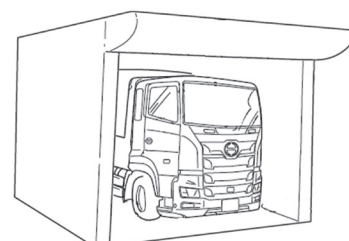
下記に該当する車両は発錆しやすい傾向にありますので、特にグリースの塗布を推奨致します。



融雪剤散布地域で稼働する車両



使用年数が長い車両

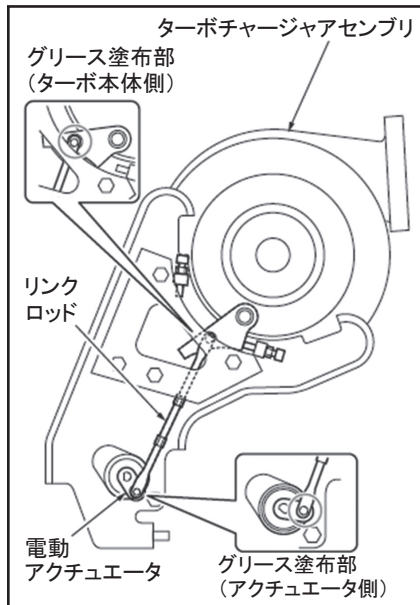


年間の稼働時間が少ない車両

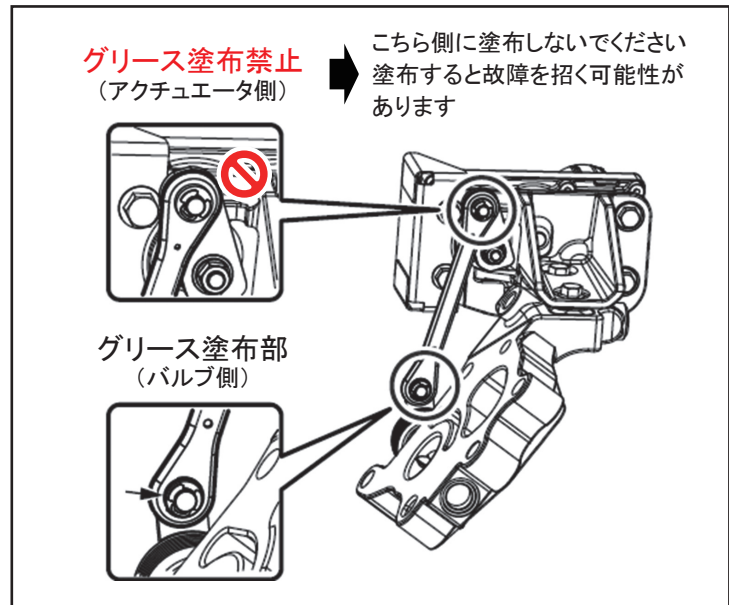
日野自動車

■ グリース塗布の要領について

<E13Cエンジン>



<A09CVAエンジン>



<作業手順>

- 手順1. 速乾性の洗浄液を用いて当該部を脱脂・洗浄してください。
- 手順2. 洗浄液が乾いていることを確認してください。
- 手順3. グリースを当該部位に塗布してください。
※E13C：2箇所 A09C：1箇所
- 手順4. キーON⇔OFFを10回繰り返してください。
※キーをON⇔OFFすることで当該部位が動きグリースがなじみます。
- 手順5. 再度グリースを塗布してください。

<補足>

- ・車両の排気管、ターボチャージャのタービンハウジング等、高温になる部位にグリースが付着した場合は、火災を防止するため拭き取ってください。
- ・E13Cのターボ本体側のグリース塗布箇所は、ノズル全開位置では補強板で隠れてしまうのでノズルを全閉位置にして塗布してください。
(キーOFF状態であれば、手でリンクを動かすことができ、全閉位置にすることができます。)



<グリースについて>

グリースはアンチシーズ771相当品を使用することを推奨致します。



製造：ヘンケル製
名称：ロックタイト アンチシーズ 771
種類：ニッケル系グリース

当該グリースは日野販売会社からも購入が可能ですので、ご購入をご希望される際は最寄りの日野販売会社にお申し付けください。